

本時のねらい

単元で身に付けたことを生かし、台風による洪水が起きたとき、自分たちがすべきことを考え、まとめる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

オクリンクのプレゼンテーション機能を活用し、単元で身に付けた内容等を生かした発表をする。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ iPad
- ・ オクリンク
- ・ AppleTV

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題をつかむ。 前時でオクリンクを使って班で組み合わせて作成した発表資料を確認する。 「これまでの学習を生かし、相手にわかりやすいように発表する。」 聞き手は発表を聞いた上で新たに気づいたことをプリントにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オクリンクを用いて、個人で担当箇所の資料を作成し、班のメンバーでデータを共有し、データをつなぎ合わせる。 ・事前に班ごとに発表の練習などを行い、完成版を提出BOXに提出する。
展開 (25分)	<ul style="list-style-type: none"> ○強風注意報、避難勧告、暴風警報、避難指示、洪水警報が出た時に自分だったらどうするべきかをスライドをもとに相手に伝えるように班で発表する。 ○実際に台風が起きたらどうするかを自分ごととして考えながら発表を聞き、プリントにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オクリンクを使ってプレゼンテーションをする。(発表する人、スライドを変える人、スライドの発表している箇所をわかりやすく指示棒で指す人など役割を分けて発表する。)
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返りを行う。 	

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：オクリンクを用いて、個人で資料を作成している場面



写真2：班でデータを共有し、1つの発表資料を作成している場面



写真3：学習内容を生かし、相手意識を持ちながらの発表を行っている場面

児童生徒の反応や変容

「もしもわたしたちの町で洪水が起きたらどうするのか」というテーマで考えたが、それぞれが自分事として対策を考えており、その考えを上手に資料にまとめることができた。全員が同じテーマで資料作成をしているので、他の人や班はそれぞれどんな考え方をしているのかと、集中して聞くことができていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

今まで、児童が資料を作るとなると、1つの画用紙をみんなで困んだり、それに対して順番待ちをしなければならなかったりと全員が活躍できる時間が少ないという課題があった。

しかし、共同編集作業を使って自分の担当の資料を作成し、最後にみんなで合わせることで発表資料を仕上げることができる。

これまでより資料作成の時間を短縮できた分、発表の練習に時間を取れたので、本時の発表ではみんな自信を持ってわかりやすく説明することができた。全員に活躍できる場があり、発表の練習を通して学習内容を深めることができたので、日々実践できる効果的な活用だと感じた。